



1月26日(火)

## 楽しみ喜ぼう

聖書朗読 ルカ1:46~56

御使いは答えて言った。「聖霊があなたの上に臨み、いと高き方の力があなたをおおいます。それゆえ、生まれる者は聖なる者、神の子と呼ばれます。

ルカ1:35

天使ガブリエルがマリアに現れ、彼女が神様から恵まれ、メシアとなる大いなる方を産むことになると言いました。マリアがその良い知らせを聞いた時、彼女は女性の中で恵まれた者であるとわかりました。彼女の美しい歌は、神様の恵み、神様のなさること、全能の力をほめたたえています。

マリアは、神様を恐れ礼拝する人々に向けても神様の恵みをほめたたえました。神様の愛とあわれみ故に、神様は私たちを救うためにイエス様を遣わしてくださいました。救い主が私たちに永遠の命をくださるためにいらしたという喜びと祝福をいただいたので、私たちはマリアと同じように神様をほめたたえます。

多くの人々は、神様が謙遜な者を引き上げ、傲慢な者を低められることを見て、神様は本当にすばらしいお方だと思っているのではないのでしょうか。私たちの天の神様は、支配者たちや自分本位の人たちを低くし、柔和で謙遜な人たちを引き上げることがおできになります。神様は疲れた者を強め、弱い者を助けてくださる方だと知ることによって、私たちはマリアのように喜ぶのです。

神様のみこころを行う人は全て、神様から恵まれ祝福されるのです。私たちの魂は、私たちの罪のために死んでくださり、永遠に天国で生きるという希望を与えてくださった救い主がいらっしゃることを喜びます。

讃美歌 239

祈り 天のお父様。罪から救うためにイエス様を遣わして下さってありがとうございます。日々あなた様の力と愛と恵みを認めることができるように助けてください。あなた様の愛と力で生きることができるよう力を与えてください。

イエス様のお名前を通して。アーメン。

ジェイン・ポー・マッセイ  
テキサス州 ヒューストン

1月27日(水)

## 家族を礼拝に連れていく

聖書朗読 ルカ2:41~42

もし私たちが、真理の知識を受けて後、ことさらに罪を犯し続けるならば、罪のためのいけにえは、もはや残されていません。ヘブル 10:24

夫:なぜ教会に行かなくてはならないのだ。僕は行きたくない。

妻:それはあなたが伝道者だからよ。今日は皆さんがあなたの説教を聞きに来るのよ。

これはつまらない伝道者系ジョークですが、誰にでも当てはまることではないでしょうか。親たちにも子どもたちにも教会に行きたくない時があるのではないのでしょうか。今日は疲れているし、眠いのはどうして教会に行かないとダメなの? そうしなくちゃいけないとか神様が待ってるからなどと子供たちに応えてはいませんか。

この機会に私たちはなぜ教会に行くのかを考えてみて下さい。それは、私たちが救われた喜びを兄弟姉妹と分かち合い、イエス様の十字架の死と復活を再確認するためです。聖餐式は、イエス様が私たちの身代わりとして死んで下さり、私たちと新しい契約を結んで下さった象徴でもあります。そして、それは、イエス様の死と復活とこれからの再臨を告げ知らせる場でもあります(1コリント11:26)。私たちは、そこに集いそれを再確認することにより、これからの一週間のエネルギーを頂きます。つまり、聖餐式は、私たちが心から周りの人々を愛し、良い行いをするための原動力となるのです。そして、私たちの愛ある行動が、主の栄光を現わすこととなります。

私たちは主によって救われた者であり、その喜びを知っています。ですから、あなたのご家族も礼拝にお誘いしてみたいかがですか。ことあるごとにみことばを聴き、讃美し、クリスチャンとの交わりを持ち、主をほめたたえましょう。

讃美歌 529

祈り 私たちのお父様。あなたからの使命とこの世での私たちの目的を決して見失うことがありませんように。一緒に礼拝を捧げ、あなた様が私たちを愛してくださったように他の人たちを心から愛することができますように。

イエス様のお名前によって。アーメン。

スティーブ・リジル  
テキサス州 アビリン

1月28日(木)

## ただ一人だけが戻った

聖書朗読 ルカ17:11~19

あなたの信仰があなたを直したのです。

ルカ17:19

イエス様と弟子たちがサマリアとガラリヤの町を通られた時、ツアラアトに冒された10人の人たちに会いました。その中の一人はサマリア人であとの9人はユダヤ人でした。彼らは主に近づき「先生」と呼びました。そして、ツアラアトを治してくれるようにお願いしました。イエス様はモーセの律法を重んじて、彼らに体を祭司に見せるように言いました。聖書では、祭司は体が清められたことを宣言し、どういう犠牲の捧げ物をすればいいのか教えてくれるからです。

神殿に向かう途中で彼らのツアラアトは癒されました。ツアラアトに冒されていたサマリア人は、自分に起こったことを知り、イエス様のところに引き返して感謝しました。イエス様は癒された9人のユダヤ人たちはツアラアトが治ったことで大喜びしそのまま行ってしまったことを嘆きました。

イエス様はその9人が戻ってこなかったことに驚き、癒されたサマリア人に言われました。「あなたの信仰があなたを救ったのです。」

ギリシャ語で救うは sozo (ソーズ) と言います。それは「回復する」という意味です。それは15節の「癒し」とは異なる言葉です。Sozo (ソーズ) には人を全部癒すということ、つまり、体と魂が再び元に戻るという意味が含まれます。

感謝することはクリスチャン生活の鍵です。あなたは何に感謝しますか。

讃美歌 531

祈り 親愛なる主よ。あなた様がくださった全てのすばらしい祝福を感謝します。また、家族や友人を感謝いたします。私を愛して下さってありがとうございます。

イエス様のお名前によって。アーメン。

エディー・C・ルイス

テネシー州 ジャーマンタウン

1月29日(金)

## イエス様の変貌

聖書朗読 ルカ 9:28~36

イエスは…彼らの目の前で御姿が変わった。その御衣は、非常に白く光り、世のさらし屋では、とてもできないほどの白さであった。 マルコ 9:2~3

私の祖母は一週間の曜日ごとに決まった家事をしていたので、私もそれを真似て月曜日は特に掃除をする日と決めました。掃除はあまり好きではないのですが、やるようにしています。とても骨折れる労働ですが、掃除をした後のすっきりした部屋の見た目、肌で感じるもの、そして匂いを楽しんでいます。

私の家事の為の装備品の中には、掃除で活躍する様々なアイテムがあります。カビ用スプレー、タイルやその間の目地用クリーナー、ブラシ、石鹼、ジェルなど。さらに新しい洗剤を見つめました。炭酸のタブレットで、コーヒー用容器、魔法瓶、金属のマグカップに染み付いたコーヒーや紅茶の汚れを落とすものです。洗濯には洗濯用のアイテムがあります。洗剤、染み抜き剤、液体柔軟剤、布シートクリーナー、時には漂白剤も活躍します。私は、白くするものは出来る限り白くしたいのです。

今日の聖書箇所、イエス様はペテロとヤコブとヨハネを連れて高い山へ行かれました。そこでは既に死んでいたエリヤとモーセが奇跡のように現れます。そしてその時、彼らの目の前で、神の聖なるご性質を表わすようにイエス様の御姿が変えられたのです。その御衣はまばゆいほどの白さとなりました。それはこの世の誰も実現出来ないほどの白さでした。ペテロとヤコブとヨハネは、その山で何と劇的なイエス様の変貌されるご様子を目にしたことでしょう。

子羊の血によって、私たちは完全に清められ罪が洗い流され、赦していただけるのです。私たちのいのちはなんと清く造り変えられることでしょう。

讃美歌 521

祈り お父様。あなた様の目に、私たちを清く純粋なものとしてください。イエス様のお名前によって。アーメン。

カーサ・ウィンザー

カリフォルニア州サンディエゴ

1月30日(土)

## 私の全てであるイエス様

聖書朗読 ヨハネ1:43~51

神の約束はことごとく、この方において「しかり」となりました。それで私たちは、この方によって「アーメン」と言い、神に栄光を帰するのです。

Ⅱコリント1:20

ヨハネの福音書の目的ははっきりしています。ヨハネは唯一無二のイエス様の生涯を記すことにより、読者がイエス様を信じることを願って書かれたのです(ヨハネ20:31)。最初の章で、ヨハネはキリストの神性を、「ことば」、「創造主」、「光」、「ひとり子」、「神の小羊」、「ラビ」、「メシア」と説明しています。

そして、イエス様はピリポに「わたしに従って来なさい」と言われ、ピリポは従い、友だちのナタナエルにイエス様のことを話しました。ナタナエルはすぐさまピリポの誘いに反論するように、「ナザレから何の良いものがでるだろう」と。しかし、ピリポは強くこう言いました。「来て、そして、見なさい。」

すると、少し距離があるところですが、イエス様はナタナエルをイスラエル人だと分かりこう言いました。「彼のうちには偽りが無い。」そのことばから、イエス様はすでにナタナエルがまっすぐな人だと言うことが分かっていました。しかし、何も知らないナタナエルはびっくりしてイエス様に尋ねました。「どうして私をご存知なのですか。」イエス様は、ピリポがナタナエルを呼ぶ前に、いちじくの木の下にいるのを見たと言え、ナタナエルは「先生、あなたは神の子です。あなたはイスラエルの王です」と言いました。するとイエス様は、ナタナエルにあなたはそれよりもっと大きなことを見ることになると言います。天が開けて、神の御使いが人の子の上を上ったり下りたりするのを見たと言ったのです。

イエス様こそが神様が私たちに約束して下さったことを成就して下さるお方です。キリストは私たちとナタナエルにとって神様に通じるたった一つの道なのです。

讃美歌 130

祈り 親愛なる主よ、あなたがこの地上にいらした目的と生涯を書き記して下さり感謝します。また、私たちにあなたの御力と進むべき道を示して下さいありがとうございます。

イエス様のお名前によって。アーメン。

リネット・カーナハン

テネシー州 ロックフォード

1月31日(日)

## 手品ですか、それとも奇跡ですか

聖書朗読 ヨハネ2:1~11

しかし、これらのことが書かれたのは、イエスが神の子キリストであることを、あなたがたが信じるため、また、あなたがたが信じて、イエスの御名によっていのちを得るためである。  
ヨハネ20:31

私の夫は熟練したマジシャンです。私たちの初デートには、彼は赤いボールを持ってきました。いうまでもなく、その一つの赤いボールが五つになり、また一つになるというマジックを披露してくれたのです。私たちが結婚した後は、二人の娘たちは常に夫がマジックを練習し、本番さながらにパフォーマンスする姿を見て育ちました。リングのマジック(リンキングリングス)、木箱からの脱出、カードマジック(夫の一番得意なマジック)などです。娘たちは種明かしを知っていましたが、それを決して人に話したりすることはありませんでした。それを話せば、マジックが面白くないものになってしまうことを知っていたからです。ですから、種明かしを知らない孫も夫のマジックを見て、「うおー！じーじ凄いね」となります。

一方、イエス様はマジシャンではありませんでした。イエス様に種明かしはありません。イエス様は神の御子ですから、イエス様が行なう奇跡は手の技や人の気をそらして行なうものではありません。イエス様の奇跡は神が創造し、ご支配しているこの世界でしるしとしてお示しになったものです。例えば、初めて行われた奇跡はカナの婚礼です。そしてイエス様の奇跡が最高潮に達するのは、イエス様の復活です。つまり、これらのイエス様のしるしは、私たちが生ける神に仕えるという確信となるものです。

今もなおイエス様は人々を信じる者へ変えて下さっています。そして、最終的な奇跡は主の再臨です。これは必ず起こる真実です。私たちはイエス様の再臨を待ち望んでいます。そしてイエス様はある時突然おいでになるでしょう。

讃美歌 324

祈り 全能の神様、イエス様を送って下さり、永遠の命の道を示して下さいありがとうございます。あなたの奇跡でこの取るに足りない私たちを子どもとしてくださったことを、心より感謝します。私たちを愛して下さいありがとうございます。

イエス様のお名前によって。アーメン。

ジョイス・ハーディン

テキサス州 オースティン